

部・クラブ・サークル活動の紹介

本学では、学生の課外活動として、12の部・クラブ・サークルがあります。各団体の人数や学年はばらつきがありますが、授業・実習等の合間に、精力的に活動を行っています。今回は活動状況をお知らせします。

団体名	顧問教員名	部員数	活動目的	活動日・時間	活動場所
1 総合運動サークル	川崎 修一	36	体力向上、日々の運動不足の解消と学生間の交流を図る。(野球、バスケットボール等の球技、冬はスノーボードを行う)	毎週木曜 17:00～ (練習試合前は、土曜または日曜に活動を行う。9:00～)	二子玉川野球場 他
2 音楽サークル	中木 高夫	43	自ら音楽を楽しみ、聞く人にも楽しんでもらう。	毎週金曜日 放課後	広尾ホール
3 手話サークル はんず's	下村 裕子	34	日常生活において、聾者の方とのコミュニケーションをとれるようにする。	毎週金曜 18:00～20:00	207教室
4 硬式テニス部	吉田 みつ子	26	テニスの技術向上を図る。	毎週火曜、金曜 19:00～21:00	西原テニスコート、日比谷公園テニスコート
5 茶道部	佐藤 眞	7	日本文化である茶道を学び、世界の一端である日本をよりよく理解する。また、多様な趣味を持つことで豊かな人間になることを目的とする。	毎週水曜 18:00～20:00	クラブ室2
6 災害救護ボランティアサークル SKV	小原 真理子	81	災害や救護に関する知識・技術を習得し、災害への意識を高めることで、突然の災害などに対応できるようにする。	毎週金曜 18:10～ 土曜 不定期	広尾キャンパス
7 EFC ボランティアサークル	田中 孝美	59	障がいを持つ子供やその家族を取り巻く環境を実際に知り、障がいを持つ人々とのふれあいを通して、在宅看護や日々の学習に生かす。同年代の子供と学生がふれあうことで、子供たちに刺激を与える。	在宅訪問・交流会・デイサービスは毎月1回土曜日9:00～17:00	ディサービスは新宿区のEFC事務所
8 NACEF	小池 政行	29	カンボジアの孤児院SKOを継続訪問し、保健衛生能力の向上を目指す。	毎週水曜、金曜 18:30～20:30	広尾キャンパス202室、情報処理室
9 Hinaharap ～s haring～	岡本 菜穂子	32	国際的な医療に興味のある学生が集まり、いろいろなイベントやボランティア活動の参加を通して、各人が得た情報や意見を仲間同士で共有し、視野・人との繋がりを広げる。	活動日は不定期。金曜日の昼休みや放課後、休日などその都度	ゼミ室、イベント会場
10 日赤ダンスサークル ROUGE	遠藤 公久	7	ダンスを通じて仲間との友情を深め、クロア・ルージュ祭を盛り上げる。	毎週火曜、木曜 放課後	広尾ホール
11 日赤看護弓道 サークル	山崎 裕二	6	弓道の練習を通して、学生間の交流を図る。	毎週水曜 19:00～21:30 (不定)	目黒区中央体育館
12 日赤フットサルサークル	川崎 修一	20	皆で楽しくフットサルをして活動し、サークル内での交流を深める。	月・木 18:00～20:00	武蔵野体育館

年間情報 平成22年度の動き (予定)

日 程	大学行事予定	保護者会予定
4月1日(木)	学年開始・入学式	新入生保護者説明会
4月2日(金)～6日(火)	ガイダンス・健康診断	
4月7日(水)	授業開始	
4月16日(木)	奨学金・進路説明会	
4月25日(日)～26日(月)	合宿オリエンテーション(1年)	
5月		第2回役員会
6月11日(金)～12日(土)	大学祭(クロアールージュ祭)	保護者会総会
8月7日(土)～9月12日(日)	夏季休暇	
9月6日(月)	後期授業開始	
12月25日(土)～1月5日(水)	冬季休暇	
3月12日(土)～31日(木)	春季休暇	
3月16日(水)	卒業式	

夏季・春季休暇については、学年によって開始・終了時期が異なります。

事務局から...

- 事務局からのお願い
本学保護者会では、保護者の皆様に会報として大学の情報をお届けいたします。
ご住所・ご連絡先が移転・変更になった場合は、大学学務課へのお届けと、本事務局(下記宛)にご連絡願います。
また 皆様からの投稿やお声もお待ちしております。
- 会費納入のお願い
平成21年度会費をお納めいただいていない保護者の方、保護者会運営に何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。
振込先は、次のとおりです。(郵便局)
口座記号番号 00110-3-282590
加入者名 日本赤十字看護大学保護者会
- 平成22年度会費について
保護者会では、大学に委託して、会費納入方法を4月の学費振込に保護者会費を加えて振込をお願いする予定でおります。何卒ご協力のほどお願いいたします。

【保護者会事務局】

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3
日本赤十字看護大学広尾キャンパス
保護者会事務局
(月曜日・水曜日 10:00-15:00)

電 話 : 03-3409-1757
E-MAIL : hogosyaj@redcross.ac.jp

- 保護者会の活動について
- 21年6月 保護者会設立
- 7月 施行
- 9月 第1回役員会
- 22年1月 保護者懇談会
- 4月 新入生保護者説明会
- 5月 第2回役員会
- 6月 総会

日本赤十字看護大学
保護者会報(第1号)

発行日 2009年12月24日
発行者 日本赤十字看護大学
保護者会

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3
日本赤十字看護大学広尾キャンパス
保護者会事務局
[Tel] 03-3409-1757 [E-mail] hogosyaj@redcross.ac.jp

日本赤十字看護大学保護者会報(第1号)2009年12月

保護者会設立に思う

日本赤十字看護大学保護者会
会長 梅澤 三夫

日本赤十字看護大学保護者会が本年6月13日の総会にて、役員及び規約等が承認され正式に設立いたしました。会長を仰せ付かっております、梅澤と申します。

保護者会会報第一号の発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

私を含め大半の保護者の皆様は、我が子が日本赤十字看護大学で学び将来看護の道へ進まれることに対して、大いなる期待と、誇りを感じていらっしゃると思います。

日本赤十字看護大学はその歴史においても、輩出した偉大な諸先輩方の実績においても、看護師の地位向上をリードしてきたことは間違いのない事実であります。これから看護師が益々社会の中で幅広い活躍の場を広げ、また自らの人生を謳歌し、立派な人間として成長することを、親として願ってやみません。

保護者会の目的は素晴らしい大学に学ぶ機会を与えられた学生たちが、一人の落伍者もなく成功の切符を受取るため、親として手助けすることです。

現在、日本の状況は政治的にも、経済的にも、また社会的にも様々な困難な状況や、信じがたい事件が発生し、安心して暮らせる状況ではなくなってきております。

一方、思うに今までの歴史において人類が何の不安もなく、順風満帆に暮らしてきたことは無かったのではないかと思います。これからの時代を切り開く若者は、目の前の不安や不満・不具合にめげずに、どうしたらこの社会が良くなり、また自分が幸せになるにはどうすべきかを考えて、とにかく突っ走ってほしいものだと思います。

最後になりますが、今の社会は全体的には豊かな時代であるがゆえに、個々人の欲望がさらに膨らんで、人間としてやってはいけないことを、簡単に実行してしまう人が増えているように感じます。人間関係において愛され、またお互いに褒めあい、個人が人の役に立ち、人から必要とされていると大いに実感できるような社会になっていかないかなあ…と、中年を過ぎたこの年になって最近思います。

取り留めのない話で申し訳ありませんが、保護者会会報第一号に寄せてのご挨拶といたします。

学長のあいさつ

日本赤十字看護大学
学長 濱田 悦子

日頃より、日本赤十字看護大学の教育研究にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

1890年の日本赤十字の看護婦養成の開始以来120年におよぶ看護教育を行い、3000人を超える卒業生が医療界で活躍してまいりました。これは本学の理念である「人道」の精神が確実に継承されている証であると自負しております。このたび、保護者会が設立されましたことは、本学におきましてまことにありがたくあらためて心より感謝とお礼を申し上げます。

設立にあたり、梅澤会長はじめ役員の方々の皆様には、ご多用のなか設立の準備をしていただきましたことをお礼申し上げます。

現在、少子高齢化社会を迎え、大学の役割も大きく変わりつつあります。18歳人口の減少のなか、大学間の競争が激化し、従来にもまして大学の質が問われている時代になってきています。このため、大学自らが教育を改革し、一層勉学の環境を整えて行くことは大変重要であります。

しかし、それ以上に将来的にも、大学運営はこれまでの学生・教職員だけではなく、保護者や同窓生等と協力して、日本赤十字看護大学コミュニティを広げて行くことがますます求められております。

今回の保護者会の設立に伴いまして、保護者の皆さまからのご支援はもとより、大学が保護者とのネットワークを作っていくことが肝要だと考えております。

これからは、学生・保護者の皆さまと大学が連携し、大学教育の質の向上や学生生活環境の整備等を図ってまいりたいと決意をあらたにしているところです。

保護者会設立にあたり、保護者会の意義をかみしめ、保護者会のますますのご発展を祈念して、今後大学の大きな支えとして、大学に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

保護者会役員名簿

会 長	梅澤 三夫	理 事	小松 浩子
副会長	丸山 なみ子	理 事	高谷 学
副会長	高橋 美子	理 事	比留間 恵
監 事	峯尾 圭子	理 事	内藤 二三枝
監 事	宮原 裕子	理 事 (大学)	佐藤 眞
理 事	古川 里美	理 事 (大学)	五十嵐 清

日本赤十字看護大学の保護者会報に寄せて

学習環境整備を助成する保護者会について

副会長 丸山なみ子

季冬の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。皆様には日本赤十字看護大学保護者会活動にご賛同頂き会費2万円の入金ありがとうございました。私は副会長の丸山と申します。微力ながら梅澤会長を初めとする役員の方々と力を合わせ、一生懸命努めさせて頂きます。今後ともご意見、ご指導をよろしくお願い致します。

活動内容は、前回の学報保護者版で梅澤会長が述べていますように、学生の課外活動援助や福利厚生援助を行います。また、国際交流としてオーストラリアのモナッシュ大学での語学研修、カンボジアの首都プノンペンでの見学実習等海外体験を平成22年度より支援します。(本年は世界的な新型インフルエンザの感染拡大の為モナッシュ大学、カンボジアでの研修は中止されました)

看護師になるには、基礎科目や専門科目を学び、段階的に領域別に実習を体験します。また、国際的交流ができるのは、赤十字ならではの特色で文化の違う環境を体験でき、自己の価値観や看護観を見つめる良い機会だと思います。

看護師は、対象者の思いに寄り添い、相手の立場を尊重し、気が利く看護を提供しなければ、患者や家族は満足してくれません。日本赤十字看護大学では、学年ごとにIからIV段階の実習を行います。実習施設への移動や慣れない実習環境と実習記録で、心身共に疲れた中で時間管理をし、規則正しい生活を送るのは大変だと思います。精神的支援者で良いと言われるのはグループの仲間だと聞いています。親としてできる事は、我が子へ関心を示し、実習の様子を聴き、看護を話題にできる様な関係づくりができれば良いと思います。そして、入学した仲間が全員一緒に卒業できるように、保護者会としての助成が、学習環境の整備、自治会やサークル活動を支援でき、学生生活を充実させられる事を保護者の一人として願っています。

日本赤十字看護大学保護者会 第1回保護者会役員会議事録(要約)

I. 日 時 平成21年9月26日(土) 14:00～16:00

II. 場 所 広尾キャンパス 1階 第2会議室

1. 報告事項

(1)保護者会費の入金状況について

平成21年9月18日現在708万円、354件(全体の60%)の入金があったことと、学年別の入金状況について報告された。

2. 審議事項

(1)保護者会役員について

保護者会規約に基づき、内藤二三枝氏を理事としてお願いし、今後は12名の役員で運営していくこととされた。

保護者会の発足にあたり

副会長 高橋 美子

この度は保護者会の発足にあたり、深いご理解と暖かいご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。医療関係に全くの、ど素人の私が何のご縁か(息子の部活関係のようで…)ご推挙頂き、保護者会発足のメンバーとして微力ながら、お手伝いを…と、思っていましたところ、まるで『天からの一言』のような力強さで、光栄にも役員をさせて頂くこととなりました。

一にも二にも子どものため!と言いながら、大学の実際の有様も垣間見ることができ、遠かりし学生時代を懐かしく感じたりと、兎にも角にも出来る限りの無い知恵と経験を振り絞り、皆様の足手まといにならぬよう楽しんで努めさせて頂く所存です。

さて、医療関係にあまり縁のない私の『看護師』のイメージは、病気・患者に対してより患者に近い視点から接し、医師とのパートナーシップを図り、家族へのサポートと八面六臂に対処していく。病院(活動が病院とは限りませんが…)内での潤滑油たる存在と何だかぼんやりと考えています。

【看護師】と言う職業に対して、理解を深めて貰いたい! 昨今、医療現場の実態が報道されるようになりましたが、『医師不足』が表沙汰にされ従来より『看護師不足』が唱えられているにも関わらず報道の対象・制度の改革に繋がらない、もどかしさを感じています。

多様化していく社会の中で、看護師としての必要性を感じます。女性主体ではない男女の活動、病院だけでない活動、国内だけでなく活動、人に関わる場所には必要な職業であると。

そのためにも子ども達にはしっかりと学習をし、社会で自分らしく自立をし、人のために尽くせる人になってほしい。『保護者会』活動が少しでもお役にたてればと思っています。

い、学生自治会費を来年度学生から6,000円を4,000円に戻すことを提案することとされた。

- ・サークル活動支援10万円→22年4月執行予定
- ・キャロリング支援3万円→21年10月執行
- ・大学祭への支援20万円→22年6月執行予定
- ・図書整備費支援50万円→22年1月執行予定
- ・奨学支援150万円→保護者会としては、経済的に困窮して学業継続が困難な学生に給付する。(30万円×5人)→22年3月執行予定
- ・国際交流支援50万円(10万円×5人)→22年6月執行予定
- ・運営費は従来どおり

(4)保護者懇談会について

平成22年1月9日(土)あたりの実施を大学内

で検討する。

5. その他

- ①保護者会ホームページについて
ホームページの素案が報告され、写真等もいれたホームページを作成していくこととされた。
- ②保護者会の今後のスケジュールについて
(1)21年12月に保護者会会報を作成・送付する。
(2)22年1月の大学主催の保護者会懇談会(予定)に、できるだけ役員も参加する。
(3)22年4月の新入生保護者会で役員から保護者会について説明する。
(4)22年5月に保護者会役員会を開催し、事業計画・予算・決算等について確認する。
(5)22年6月に保護者会総会を開催する。

日本赤十字看護大学保護者会 平成21年度予算 (平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(資料1)

(平成21年9月26日現在)

区分	科目	当初予算	役員会時予算	内 訳
収入の部	会費	11,600,000	7,080,000	580人((学部140人×4学年)+(編入10人×2学年))×2万円
	利息	0	0	
	繰越収入	0	0	
	収入計	11,600,000	7,080,000	
支出の部	援助費	7,390,000	4,330,000	
	課外活動援助費	1,130,000	1,130,000	学生自治会支援 30万円 サークル活動支援 10万円 キャロリング支援 3万円 大学祭への支援 20万円(講演会等) 卒業謝恩会支援 50万円 図書整備費支援 50万円(250冊:50万÷2,000冊)
	福利厚生援助費	6,260,000	3,200,000	奨学支援 150万円(授業料30万×5人) 卒業アルバム支援 70万円 国際交流支援 50万円(旅費10万×5人)
	運営費	1,660,000	1,660,000	
	消耗品費等	300,000	300,000	保護者会備品文具類(PC含む)
	通信運搬費等	200,000	200,000	
	役員会・総会等	100,000	100,000	
	保護者懇談会	60,000	60,000	
	保護者会会報	300,000	300,000	印刷製本費
	ホームページ制作費	200,000	200,000	
	事務費	500,000	500,000	
	支出計	9,050,000	5,990,000	
	予備費※	2,550,000	1,090,000	
	計	11,600,000	7,080,000	

9/26 保護者役員会において予算修正。現状の収入を見込み、支出の部で国家試験対策への助成は見送ることとされた。

第1回保護者会設立総会

2009年6月13日、全国から107名の保護者が参加し、広尾キャンパス広尾ホールにて保護者会設立総会が開催されました。

午前10時から保護者会設立の趣旨、規約、会長等の役員候補者の紹介、平成21年度予算・事業計画についての説明が行われ、承認されました。

会場からは、事業計画についての活発な意見がだされ、保護者のみなさまの運営のお力添えをいただけることになり、設立準備委員も安堵したところでございます。

当日、学園祭が開催され、学生のイベントにも参加し、クラス担任やゼミ教員との和やかな歓談や、保護者同士の交流があり、盛況のうちに終了しました。

なお、平成22年度は、6月12日に開催される予定です。

<キャロリング>

